

ふれあいランド岩手版 ウイニング

No.32

平成23年3月発行
いわて福祉だより
パートナー別添付録
(通巻560号)

年に一度の文化サークルの祭典 「ふれあい文化交流会」開催♪

昨年の十二月十一日(土)、当館の文化施設をご利用いただいている文化サークルの発表会である「ふれあい文化交流会」を開催しました。

「ふれあい文化ステージ」では、ふれあいホールを会場に、カラオケ、大正琴、和音、コーラス、アロハフラなど、バラエティに富んだ発表が行われました。

また、エントランスホールでは、生け花や手芸、陶芸、絵画、川柳などの作品を展示する「いきいき活動展」が行われ、たくさんの方々の目を惹きました。

その他、茶道サークル「葉会(なつめかい)」による茶道体験や「ボランティアサークルとまと」による郷土料理のへっちょごだんごが販売され、準備した百食があっという間に完売しました。



子ども広場では、おはなしポケットによる「紙芝居読み聞かせコーナー」を行い、熱心に聞き入る子どもたちの姿が見られました。

なお、「囲碁交流大会」も行われ、有段者の部、一級以下の部に分かれ、予選リーグ戦、決勝トーナメントと数々の熱戦が繰り広げられました。

自己ベストに挑戦! 「さわやか交流水泳記録会」開催☆



一月三十日(日)、障がい者、高齢者の方を対象にした水泳記録会である「さわやか交流水泳記録会」を開催しました。交流会は今年で十四回目を迎え、参加された約七十名の方々が、日頃の練習の成果を試し、自己ベストに挑戦しました。

個人競泳の部では、クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライでの距離別競技、個人メドレーを行いました。

団体競泳の部では、メドレーリレーを行いました。

ご家族や仲間の熱い声援に会場内は大変盛り上がり、参加者の皆様は、日頃の練習の成果を十分に発揮しておりました。

なお、当日は、アクアボランティアの皆様をはじめ、盛岡医療専門学校、盛岡中央高校、紫波総合高校の皆様などにご協力をいただき、記録会を力強く支えていただきました。

多くの皆様を支えられ、お陰様をもちまして、盛会裏に終了できましたことに、深く感謝申し上げます。



車いす寄贈& 除雪ボランティア活躍☆



雪が溶け始め、春の訪れを感じる季節になりましたが、今年は大雪に見舞われ、除雪に苦勞された方も多かったのではないのでしょうか。

当館はたくさんの方々のご協力により支えられておりますが、雪の多かった今年には、「東北電気保安協会青年部」の皆様が除雪ボランティアに来て下さいました。三十歳以下のメンバーで結成された青年部、約二十名のメンバーが二時間の除雪作業を行い、とてもきれいに除雪して下さいました。

また、「車いすを贈る会」の方々から、車いす五台を寄贈していただきました。寄贈していただいた車いすは、皆様へのサービス向上に活用させていただきます。

改めてご協力いただいた皆様には深く感謝申し上げます。

ふれあいランド岩手 開館以来の利用状況

平成6年12月9日～平成23年1月末

延利用者数……3,337,996人

内 訳

文化施設

会議室・研修室・音楽室等

935,805人

スポーツ施設

プール・トレーニング室等

2,402,191人

お知らせ

**運動の「コツ」に納得！
「自分のタイプを知り効果的に動こう！」開催**

二月二十日(日)に、当館ふれあいホールと体育館を会場に「自分のタイプを知り効果的に動こう！」をテーマに講習会を開催いたしました。

この講習会は、正しい身体の動かし方や個性に合った身体の動かし方を学び、怪我をしない安全な身体の動かし方を実践することを目的に開催いたしました。

講師には、オリジナルな身体分析や調整理論である「レッシユ理論」の普及、実践で全国的にも有名な廣戸聡一氏をお招きいたしました。

午前の部では、親子を中心に四十名の方が参加されました。「運動がグンとうまくなる・強くなる！」をテーマに、身体の成熟には個人差があり、幼少期には運動に自由度を与え、大人と子供の身体的特徴差を認めることが大切であることを学びました。

午後の部では、高齢者や運動指導者を中心に五十名の方が参加されました。「自分の身体のタイプを知ろう！」をテーマに、身体を動かす際には軸を安定させることが大切であり、いかにして身体に負担を与えずに、軸を作るかということについて学びました。

参加者の方々からは、「とても勉強になった」「また開催してほしい」といった意見も多く聞かれました。

「とても勉強になった」「また開催してほしい」といった意見も多く聞かれました。



**遊びとコミュニケーションの
重要性を認識!!**



昨年の十月三十日(土)から十月三十一日(日)に、当館研修室を会場に「おもちゃインストラクター養成講座」を開催いたしました。

おもちゃインストラクターとは、おもちゃ遊びや身近にある材料を利用したおもちゃ作りを通して、小さなお子様から高齢者まで、世代を超えてコミュニケーションを図るためのパイプ役として活躍するボランティアです。また、小さなお子様にとっては、おもちゃ遊びを通じて、遊び力の向上を図るお手伝いをする人材となります。

今回は、岩手県内外の保育所や児童館等に勤務されている方を中心に、約三十名の方々が参加されました。

講座では、普段の生活では捨ててしまうような牛乳パックや画用紙を利用しての「おもちゃ作り」、作成した「おもちゃ」を用いて、子どもから高齢者までの幅広い世代の方々と交流を図るために、どのようなコミュニケーションを図るかにあつてのワークショップなど、受講者の皆様の笑い声などが響く、賑やかな雰囲気の中で講座が行われました。



なお、講座終了後には、日本グッド・トイ委員会理事であり、本講座の講師である多田純也氏から、受講者一人一人に修了証が交付されました。

**より利用しやすい
施設づくりを目指して!!**



より多くの皆様に安全かつ快適に施設を利用していただけよう、受付システムが変更になります。また、プール及びトレーニングルームの一部が新しくなります。

受付システムは、皆様の待ち時間を軽減するため、従来の会員番号を入力するシステムからバーコードリーダーで読み取るシステムへと変更いたします。

プールは、プールサイドの一部に防滑シートを敷き、障がい者や高齢者の方々の転倒防止やタイルで足を切ってしまうような環境づくりに配慮いたします。また、車いすを利用している方でも安心して入退水を行っていただけるよう、入退水用プールリフトを購入いたします。障がい者用トイレにおいては、従来、男女各更衣室からしかご利用できませんでしたが、障がい者用更衣室からもご利用できるようになります。

トレーニングルームは、待ち時間の多かったランニングマシンを新たに二台購入し、より多くの方々に有効利用していただけるようにいたしました。

プールにつきましては、改修に伴い、三月七日(月)から三月三十日(水)まで休業とさせていただきます。その他の施設につきましては、通常通りご利用いただけます。改修期間中は、皆様のご利用をおかけいたしますが、三月三十一日(木)から皆様のご利用を心よりお待ちしております。



☆広報紙「ウイング」は、ふれあいランド岩手を上空から見た施設の基本理念であるノーライゼーション（障がいや年齢などの垣根を飛び越え、だれもが利用できる施設であること）に由来しています。